

単元案の概要

単元名: 自分に合う大学診断チャートプロジェクト					
科目名	自分に合う大学 診断チャートプロジェクト	作成日	2017年1月23日	作成者	F班
学年/年次	高校2・3年生(中国)	クラス人数	12人	使用教材	大学パンフレット・HP、チャート作成ツール
話題分野	学校生活、住まい、 交通と旅行、その他	言語レベル	3	必要時間数	45分×10コマ (およびカリキュラム終了後の作業時間)
単元目標					
①大学選びの基準を考え、大学診断チャートをWeb上のツールを使用して作成できる ②作成した診断チャートの良さをアピールし、今後留学する後輩に活用してもらうことができる ③自分自身の将来の日本語学習計画を意識できる					
コミュニケーション能力指標					
【学校生活】 3-c 大学の特徴について、口頭で紹介しあうことができる 3-e 大学の学校案内を読んで、概要を理解できる 【住まい】 3-d 住居やその周辺環境として望ましい条件は何かについて、話し合うことができる 3-e 大学の寮などの施設の使い方や建物の設備、器具の使い方や注意点について書かれた文章を、読んで理解できる 【交通と旅行】 3-a 目的地までのアクセス方法を尋ねたり、説明したりできる 3-b 留学先の市町村の案内プレートや説明文・ガイドブックの大意を理解できる 3-c 旅行ガイドの説明を、聞いて大意を理解できる 3-e 将来行きたい所やお勧めの留学先について、理由を含めて語り合うことができる 【人とのつきあい】 3-c 相手の年齢や立場を配慮して、メールを書くことができる 3-g インターネット・電話・ファックスの使用に関する指示を聞いて理解できる 【行事】 3-d 日本の行事の過ごし方について書かれた文章を、読んで大意を理解できる 【地域社会と世界】 3-b 都市や町について書かれた文章を、読んで大意を理解できる 【自然環境】 3-a 自然現象・自然災害に関する文章を、読んで大意を理解できる					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動			学習シナリオ		
①Web上や雑誌にある性格診断などのチャートを実際に体験し、活動方向とゴールを意識する ②大学に関連する語彙・表現(シラバス、学費、チューター)などの語彙リストを作成する ③日本の大学や、その大学に留学していた先輩から情報収集するための、問い合わせメールを作成する			<場面状況> 中国には日本の大学に留学する意欲が高い高校生たちが多くいる。大学選びの際には授業内容や奨学金の有無などの他、私立大学か国立大学か、方言はあるか、そこが都会か田舎か、気候はどうかなど様々な基準があるが、高校生たちは実際にはどのように大学を選んでよいかわからない現状がある。		
			<活動の流れ> 3人1グループになり、①関東国立大学、②関東私立大学、③関西国立大学、④関西私立大学の4グループに分かれて、それぞれの条件の大学を調査する。その際、大学や先輩から情報収集をし、大学を選ぶ際の基準をさまざまな視点から検討する。各グループがそれぞれ診断チャートを作成し、最終的にはクラスでひとつの大学診断チャートにまとめる。Web上にチャートを公開、その良さをアピールし、日本の大学に留学したい後輩たちに活用してもらう。		
評価活動					
形成的評価			総括的評価		
・大学比較表の発表 ・成果物「大学比較表」			※別途ルーブリックを作成してください		